

製品名: ガンマチューブリン (6A10) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00892**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 51 kDa; Observed MW: 51 kDa

抗原情報

遺伝子名	TUBG1
別名	TUBG1; TUBG; Tubulin gamma-1 chain; Gamma-1-tubulin; Gamma-tubulin complex component 1; GCP-1
遺伝子 ID	7283
SwissProt ID	P23258
免疫原	ヒトγチューブリンの合成ペプチド

背景

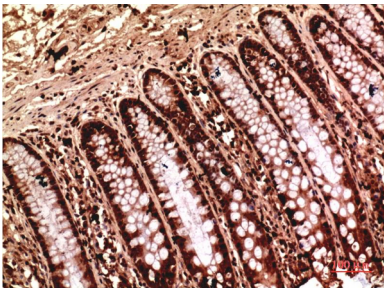
TUBG1 チューブリンは微小管の主成分です。γ チューブリンは、紡錘体極や中心体などの微小管形成中心（MTOC）に存在しま

す。α/β チューブリンのマイナス端核形成、中心体複製、そして紡錘体形成を制御する中心体周囲マトリックスの構成要素です。GCP2 および GCP3 と相互作用します。B9D2 と相互作用します。CDK5RAP2 と相互作用します。

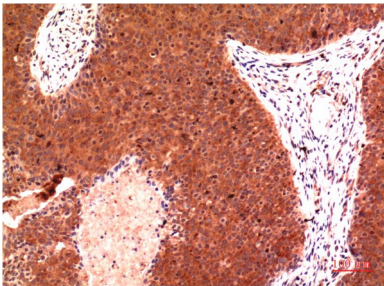
研究分野

シグナル伝達

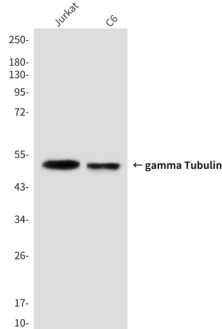
画像データ



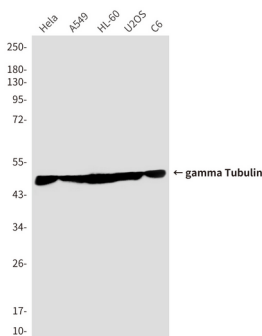
ガンマチューブリン (6A10) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ガンマチューブリン (6A10) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ガンマチューブリン (6A10) 抗体を用いた Jurkat, C6 ライセート中のガンマチューブリン (6A10) のウェスタンブロット分析



ガンマチューブリン (6A10) 抗体を使用した、Hela、A549、HL-60、U2OS、C6 溶解物中のガンマチューブリン (6A10) のウェスタンブロット分析。

